注入した雌畜	番　　号				
	名　　前				
	家畜登録機関名及び登録番号				
	種類及び品種				
	毛色及び特徴				
	生　年　月　日				
	飼養者の住所及び氏名又は名称				
注入精液	注入年月日	月　日	月　日	月　日	月　日
	種畜の名前				
	家畜人工授精用精液証明書番号				
授精証明書	発行年月日	月　日	月　日	月　日	月　日
	番　　号				
子畜	性				
	生　年　月　日				
摘　　要					

備考

1　めん羊、山羊及び豚については、子畜の性の欄に雄及び雌の別にその頭数を記載し、又は記録すること。

2　注入を受けた雌畜の飼養者から授精証明書の交付を要求される前においては、家畜人工授精用精液証明書を添付しておくこと。ただし、家畜人工授精簿を電磁的記録により作成する場合にあつては、家畜人工授精用精液証明書を必要なときに速やかに照合できるよう適切に保管しておくこと。

3　混合精液を使用した場合には、種畜の名前の欄には、使用した混合精液に添付されている家畜人工授精用精液証明書表の精液を採取した種畜の名前の欄に記載されている事項をそのまま記載すること。